

學校教育の基礎としての幼児教育

奈良女子高等
師範學校教授 野田 義夫

左の一篇は「京阪神三市聯合保育會雜誌」第三十七號より披
萃せるものなり。本會は茲に野田義夫氏及び京阪神聯合
保育會に深厚なる謝意を表す。

私は、今日三市聯合保育大會に於て何かお話を
して呉れと副會長から御話がありました但其際私
は保育の事に就いては無經驗で、且之れに關する
智識を持たないからと、再三お斷り致しましたが
是非何かとのお話で、兎に角お受いたしましたけ
れ共、とても皆様を満足さす様な話は出来ません、
誠に辱かしい事でありませう。で直接保育の話は出
來ませんが私は今の學校で教育學を受持つて居ま
から其の立場からお話することゝ致しませう。此
の話が保育上何等かの御参考になれば此上もない
満足であります。從來幼稚園に就ては色々の考が
あります。幼稚園に従事する人は保育は價值ある

もので將來學校教育をなす上に最も効果があるも
のであると云はれますが又保育は、さまで價值あ
るものではないなどと考へる人もあります。

殊に歐洲各國の幼稚園は云ふに及ばず、フレ
ベルの本國なる獨逸にても、左程此保育は重んぜ
られて居りまん。尤も有志者があつて極力之れに
務めて居るのでありますが、反つてアメリカ方面
が發達して居ります。此様でありますから、幼稚
園なるものは、其の人々國々に依つて、各見地を
異にして居ます。尤も此保育なるものは其の仕方
によつては非常に必要であり、又國家に重大なる
關係を有するものであります。で私はかう云ふこ
とを私の立場から述べて見たいと存じます。

今日は云ふまでもなく、學校旺盛時代でありま
す。學校は最も大切なる智識技能を發達させる所

であります。即ち算術、理科等の智識、唱體裁等の技能に至る迄、すべて學校教育であります。其他道德方面、身體方面に於ても、學校が大部分この養成に務めて居ますけれ共、之れを遡つて考へれば學校は人類の歴史によりて出來たもので、學校のない前は云ふ迄もなく家庭に於て父母が之れを施して居たものであります。故に父母は自然の教育者であります。かう云ふ風に學校教育は元來家庭でなすべきものでありまして、學校は家庭の特別機關であります。

今日大部分の保育は幼稚園に於て爲されてゐますが前云つた様に教育は本來家庭の仕事でありますから、教育の任にあたるものは父母の精神を以て居りませんと其の仕事の目的を徹底させることが出來ません。幼稚園に於ては尙更で保母は母の任務を代理するものであります。私は此の考を少し許り話して見たいと思ひます。

此の點を明にするには幼児(入園前)の家庭に於

ける平生の様子に注意し、父母はそれに對して如何なる任務を有するかと云ふことを知らねばなりません。學校教育は大切だけれ共、其前に家庭に於て受ける教育は學校に於て受ける教育と大なる關係を有するものであることを忘れてはなりません。

從來幼稚園でしてゐる仕事は何でもない様に考へられてゐますが、家庭でする仕事又は幼稚園でする仕事は學校教育の基礎となるべきもので、最も重大なる仕事であります。

幼児期に於て養はれる色々のことで最も大切なのは徳性の涵養、即ち道德の基礎が此の間に養はれると云ふことであります。勿論此時期には道德の何たるかを解しませぬが將來道德の基として必要であります。無論之れが養はれて居なければ學校教育は出來ないのであります。

私は殊に國民道德の上より常に此事を考へて居ます。私の考を簡單に云へばツマリ日本では古よ

り忠孝の徳を喧しく云つてゐます。道德の基礎として大切な此の徳は家庭に於て父子間に自然に生ずるものと私は兼ねてから信じて居ます。人間の道德は種々ありますが其の歸着點は人道一つに違はない。而して最初現れて来るのは父子の間であつて此の時に現はれて来るのが最も偽のない人間道德の根本であります。昔から宗教で人間の最も高尚なる道德が父子の間に行はるゝと言つて居ることは、キリストを父と呼ぶことに依つても知れます、又誰にもよくわかる天理教の親様と云ふのも同じであります。で父子間に現はれたる自然の情は偽のない真心で頑是のない子供と雖も自然この愛を感得します。諸君は鳩翁童話に出て居る道樂息の話をお読みなされたであらう。私も之れを讀んでさもあらうと感じたのであります。詳しくは記憶して居ないが大體次の如くであつたと思ひます。

或一家に非常に道樂な息があつた。一日親類縁

者の者が寄て、彼を勘當せんことを両親にすゝめた。若し之れに不同意して印を押さなければ親類は絶交すると迄迫つた。息は一策を案んじつゝ、外にて立聞きして居た。暫くして父は母に印形を取り來れと命じた。此の時其の母は涙を流して自分は子の爲めならば乞食になつても構はぬ印はどうしても押さぬとて聞かなかつた。今迄外に立聞をして居た息は此の母の語をき、其の無限の情に深く感じ涙を流して是迄の不心得を謝し、遂に眞人間になつたと云ふことであります。

モ一つは私の親しい家の話ですが、其の家の男子が高等學校の入學試験に不幸落第した。其の翌年又々試験を受くべく準備した、家内一同は大いに心配した、殊に其の母親は案じ、丁度試験の近づく頃長い手紙を書いて其の子を私の家に預け様とした。其の時子供は其の手紙を見せて呉れと云つた、そして其の手紙を讀んで思はず泣いた。之程母が自分の事を思ふて呉れて居るならば自分は

此後家で出来るだけ一心に勉強しやうと其後専心勵んだため遂に入學することが出来ました。之等はいづれも母親の子に對する愛情の深さを示すお話であります。又母親は自分の命を屠して育養するもので、出産の場合子を殺せば母親は助かるが子を助くれば母親は死ぬと云ふ時、多く其の子を殺して母親を助けるのですが、之れを一方母の情より考ふれば自分を殺して子を助けたいと云ふのが自然の情であります。其の實例として一婦人が田舎の祭に行かうと思ふて五歳の子供を負て鐵橋を渡つて居た。此の時轟然汽車が來かゝつた。既に道を避くべき餘時がない。將に軋き殺されんとする際、母親は急に其の子を線路外になげ出した。之れがため子供の一命は助かつたが母は無慘にも微塵になつて川中に落ちた。其後其子が二十歳位になつた時、直接に其時の感想をよゝました。其男の話に五歳位であつたが、唯一つ記憶に残つて居るのは母の手の指がレールの上にずらりと列

んで居たことである、で今でも汽笛の音を聞くと身の毛が寄立程に思ふと話しました。

これは前云ふた通り偽のない真心、無限の情があるために起つた出來事であります。

子は母の愛に監督されて育つて行くもので、ルツソ一の言に「母は學問も教育法も知らない人であるが子に對する愛及び熱誠を有して居る、即ち母は自然の教育者である」と

この様にして母の誠の精神、無限の愛は遂に子に感移し、子は母を慕ふ、かうして母に對する孝の心は自然に養はるのであります。

日本では孝が本となり、之れが廣がつて忠となるのであります。眞の孝は母に依つて、云ひ代へれば家庭によつて起るので、誠に重大な事であります。

以上は一般家庭に就いて云ひましたが、保育に就て云へば幼稚園は家庭にて爲すことをするのですから、保姆の任務は重大で、保姆がよく母親の

任務に代つて盡したならば幼児は忠孝の何たるを知らないけれ共いつか此の精神を感受し得るのであります。かくして始めて諸君は國家に對し、自己の任務を盡したと云へませう。日本は忠孝の大切なる國であるが、それは君父に對する狭い道德である、之を廣くしたら如何と云ふ人があります。

私のは舊式の考か知りませんが、「孝は百行の本」と云ふことが最も良しい。孝は母の誠の精神の現はれたもので、之れが最も人間の高尚なる道德で、誰にも憚からず何人に對してもやましい所がありません。この心を押廣げて行けば良いのであります。御勅語中にも之れを古今に通じて謬らず、之れを中外に施して悖らず云々と仰せられて居ります。

親が子に對して現はす精神を、他人に對して現はしたならば、之れが最も高尚なる道德であります。四海同胞は其の心を歐洲人に迄廣く現はした時の語であります。即ち骨肉間の道德を押廣めた

意であります、そして人道の根本は家庭にて養はれるもので、この精神が満足に行けば何にも云ふことはないのであります。

幼稚園に於ける保育の關係も同一のもので、保育の任にあたる人は母親と同様の心を以てすれば其子は國家に對して其の効最大であります。今迄のは家庭の德育に就ての話でありましたが、智識技能の方から云へば、他日世間に立ちて必要なことは學校で學ぶ物が最も大であります。幼稚園で學ぶことは少く又直ちに役に立つ學問も少くあります、唯後の基礎となるのであります。實に幼児期は遊戯時代であつて、遊技は幼児の生命であります。遊戯の價値は今更私が云はなくても、フレーベル氏が云はれたから諸君はよく知つて居るでせう。但しフレーベル氏の解方は今日とは多少異つて居ます、今日ではグロース氏の著された本の中から多く取つて居ます。

元來遊戯は何の役にも立たない様に考へられま

すが之れに依つて幼児は身を發達せしむると共に智識技藝の基礎を作るのであります。

遊戯は自由の活動(束縛のない自由)快感の伴つた遊びで之れが身體の發達と共に智技の發達となるのであります、故に遊戯は人間發達上に是非なければならぬ物でありまして、之れが結局將來の仕事と同じものとなるものであります。五六歳の遊戯は何をするかわからないけれど身體の發達を促すものである。大人の遊戯について云へば幼児時代とは異ひ規則的努力を要し、練習がいり、之れに伴ふ束縛もある。又遊戯が追々進んで行けば之が業務となるのであります。始めは何でもないが遂に之れが職業となるのでありますから、幼児時代の遊戯は職業に必要なことをして居るのです、今日では勤勞を大切に云つて居ます、之れがなければ人間は生活して行く事は出来ません。勤勞と云へば六ヶ敷ですが、幼児の精出して遊ぶのも勤勞の一つであります、邪念なく興味と熱

心と活動とを以て大人がすれば必ず其事は成功します。大人になれば誰でもいや／＼するから成績が擧らないのである。幼児時代に於てしつかり興味を以て愉快に遊戯することは後其人の勤勞の有様に關係することが大であります。遊戯とは目的なく走るもので、目的あつて走るものは仕事である。そして遊戯に用ふる活動も仕事に對する活動も同じことであります。

幼稚園の遊戯は活動興味が根本であるが、一生を通じて考へれば甚だ大切な事でありませう。なほ云ひたい事もあります以上のことを要點だけ申上げてみますと母親が子に對する慈愛は孝を呼起すものであるから幼稚園保姆は母の心を以て保育に従ふと適切な保姆となり得るのであります。遊戯は將來仕事の基礎となるもので、熱心に興味を以てすることは後の活動の基を作るものでありますから熱心にさすと云ふことが必要であります。(文責在記者)